

マタイ 27

# 終末的信仰を 日々、育もう

マタイ福音書10章24～42節

弟子たちへの勧告

[Shikaoichurch.com](http://Shikaoichurch.com)

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. 主の弟子の覚悟 10:24～33

II. メシアがもたらす分断

10:34～42

III. まとめと適用

終末的信仰を 日々、育もう







## 0. イントロダクション

カペナウムの再現図

# メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる  
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日（律法解釈）論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



# メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル  
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

安息日(律法解釈)論争

メシア的奇跡

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ



たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年  
エルサレム陥落



# マタイ福音書によるメシアの生涯（時系列より内容重視）

|              | 章     | 時代    | おもな内容                       |
|--------------|-------|-------|-----------------------------|
| 出生           | 1～2   | 誕生    | メシアの誕生                      |
| 大衆伝道<br>(公開) | 3～4   | 宣教の開始 | バプテスマ、悪魔の誘惑、ガリラヤへ           |
|              | 5～9   | 宣教    | 山上の説教(5～7)、メシア的奇跡(8～9)      |
|              | 10～12 | 衝突    | 12弟子の派遣(10)、 <b>ベルゼブル論争</b> |
|              | 13～20 | 弟子訓練  | たとえ、信仰告白、山上の変容              |
| 弟子訓練<br>(限定) | 21～25 | 最後の論争 | エルサレム神殿での最終論争               |
|              | 26～27 | 受難    | 最後の晩餐、裁判、十字架と葬り             |
|              | 28    | 復活    | 復活、弟子たちへの最後の命令              |

## 派遣に先立つ弟子たちへの勧告 10章前半

- 遣わされた先で拒絶されることがある。
  - 蛇のように賢く、鳩のように素直であれ。
  - 世の権威に裁かれるときは、聖霊に委ねよ。
  - 最後の時まで忍耐せよ。
  - 迫害されたら別の町へ逃れよ。
- } 終末の警告

メシアの警告は、さらに終末の要素を増して…

メシアの警告に、織り交ぜられる終末預言

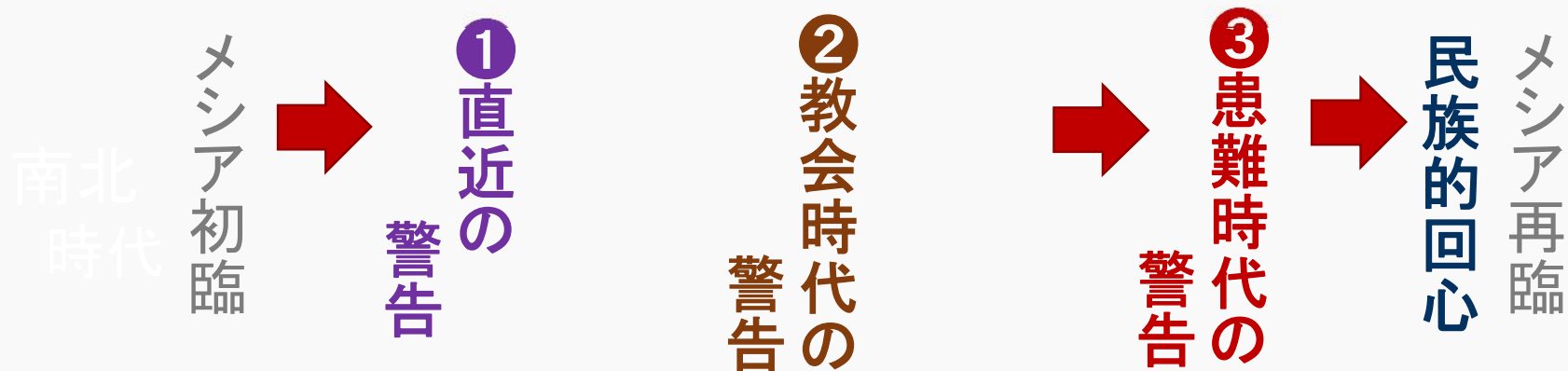
→預言者たちの預言と構造は同じ





# メシアの警告に、織り交ぜられる終末預言

メシアによる警告





## I. 主の弟子の覚悟

マタイ福音書10章24～33節

ガリラヤ湖近郊



## 本編

### 師と弟子 マタイ10:24～25

弟子は師以上の者ではなく、しもべも主人以上の者ではありません。

弟子は師のように、しもべは主人のようになれば十分です。家の主人が**ベルゼブル**と呼ばれるくらいなら、ましてその家の者たちは、どれほどひどい呼び方をされるでしょうか。

＊バアル・ゼブブ…ガザのエクロンの神

バアル神のバリエーション?! (Ⅱ列1:3)

■ イエスは、すでに悪霊呼ばわり (9:34)

➡ 議会の結論となるのが、12章24節



## 本編

## 宣言せよ マタイ10:26～27

ですから彼ら\*を恐れてはいけません。お  
おわれているもので現されないものではなく、  
隠されているもので知られずにすむものは  
ないからです。

わたしが暗闇であなたがたに言うこと\*を、  
明るみで言いなさい。あなたがたが耳もと  
で聞いたことを、屋上で言い広めなさい。

\*イエスをベルゼブルと揶揄する者たち

\*イエスこそ、イスラエルのメシアである

すべての真実は  
明らかにされる





## 本編 主を恐れよ マタイ10:28

からだを殺しても、たましいを殺せない者たちを恐れてはいけません。むしろ、たましいもからだも**ゲヘナ\***で滅ぼすことができる方を恐れなさい\*。

＊「火の燃えるゲヘナ(マタイ5:22)」

…永遠の滅び・地獄

…12/13回は、メシアが言及

＊フォベオマイ(恐れる)

…58/95回は福音書



主を恐れよ

## 本編 髪の毛さえも マタイ10:29～30

二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。

あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。

＊1デナリオンの1/16。数百円？！

すべての被造物は主の御手の内にある





## 本編 メシアの権威 マタイ10:31～32

ですから恐れてはいけません。あなたがたは多くの雀よりも価値があるのです。

ですから、だれでも人々の前でわたしを認めるなら\*、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。

■ 永遠に価値あるものと認める権威は、  
メシアにある。

**メシアの神性宣言!!**





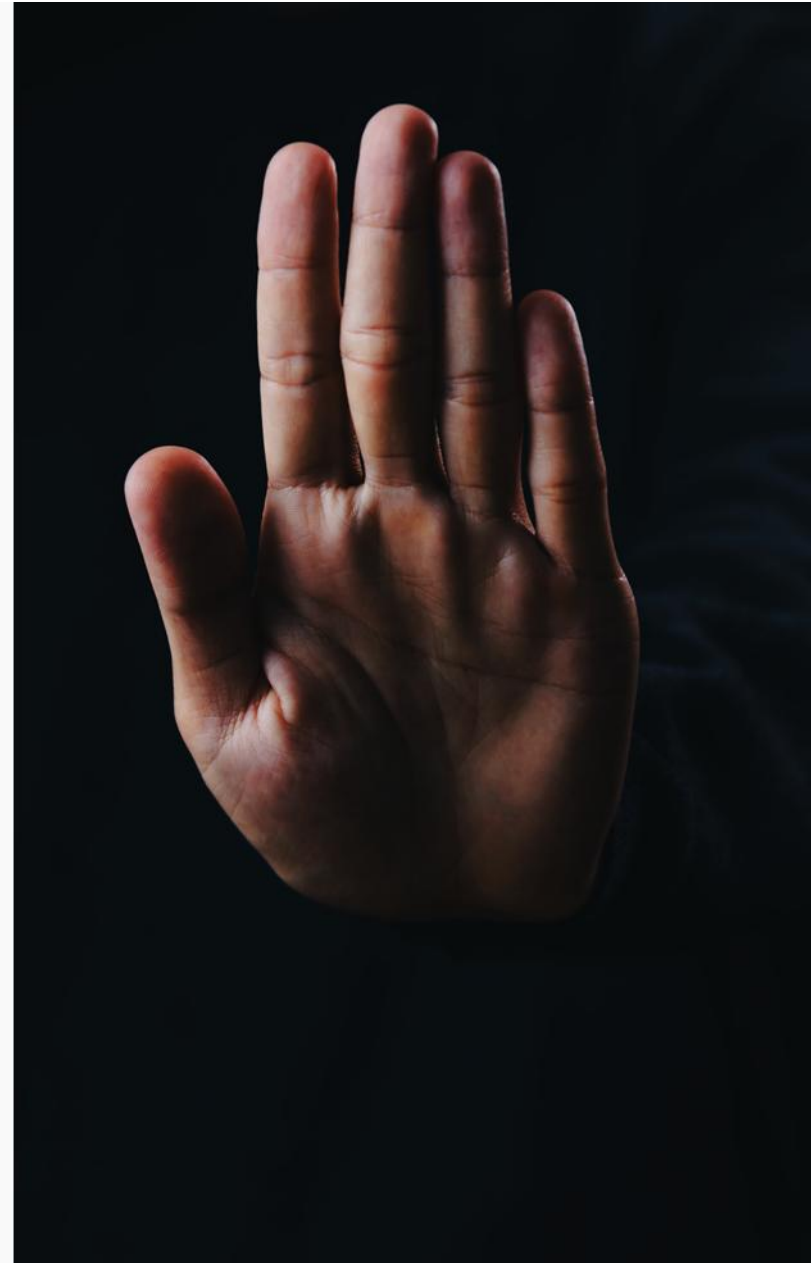
## 本編 主の裁きの原則 マタイ10:33

しかし、人々の前でわたしを知らないと言う者\*は、わたしも、天におられるわたしの父の前で、その人を知らないと言います。

\*イエスはメシアであると告白しない者

■主イエスを知らないという者は、  
主イエスに知らないと宣告される。

➡主の裁きの原則





## Ⅱ. メシアがもたらす分断

マタイ福音書10章34～42節

ガリラヤ湖畔

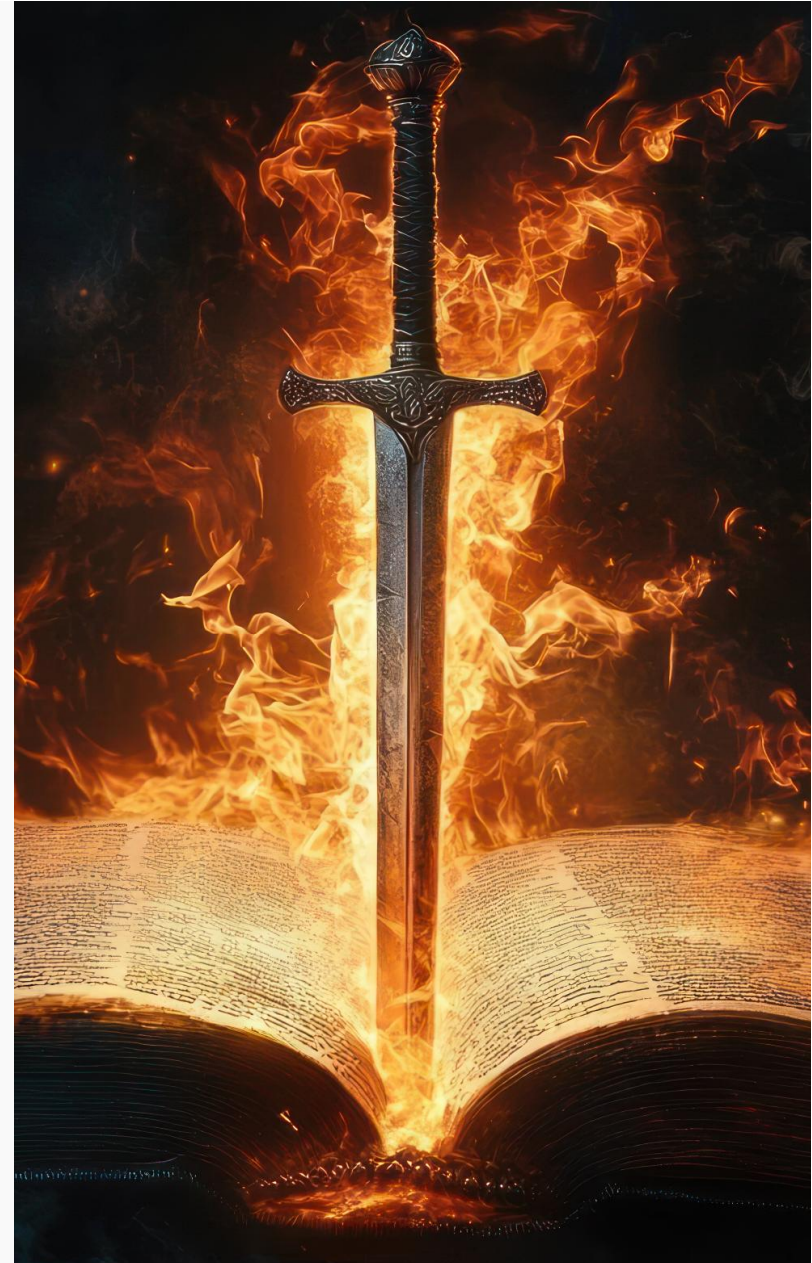


## 本編 メシアの剣 マタイ10:34

わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思っ**て**はいけません。わたしは、平和ではなく**剣**をもたらすために来ました。

「あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思っていますか。そうではありません。あなたがたに言いますが、むしろ**分裂**です。ルカ12:51」

■ イエスをメシアと受け入れるか否かで、イスラエルは分裂し、激しく対立する。





## 本編 主の日の分断 マタイ10:35～36

わたしは、人をその父に、娘をその母に、嫁をその姑に逆らわせるために来たのです。

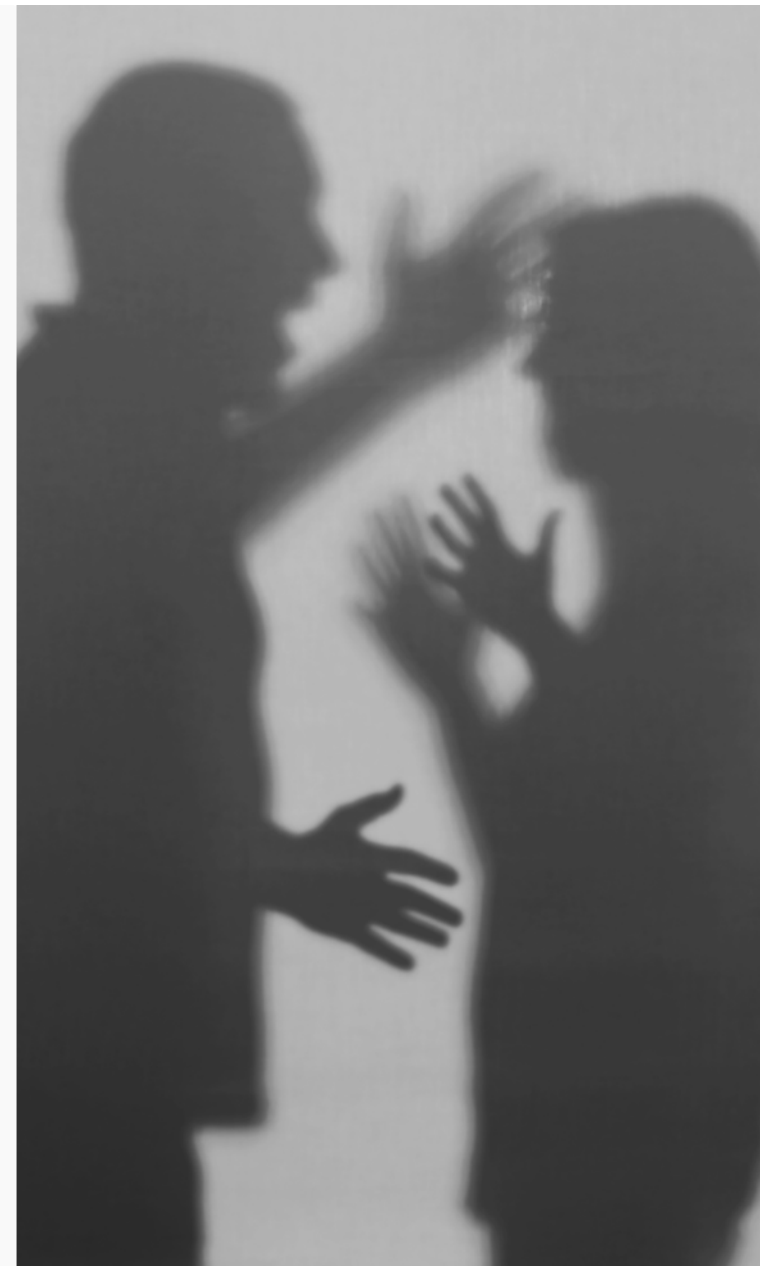
そのようにして家の者たちがその人の敵となるのです。

### ■ 終末の裁きの預言 ミカ書7:6

「子は父を侮り、娘はその母に、嫁はその姑に逆らい、それぞれ自分の家の者を敵とする」

■ 艱難期、2/3のユダヤ人は主に逆らい死ぬ。

1/3は、民族的に悔い改めて救いに至る。



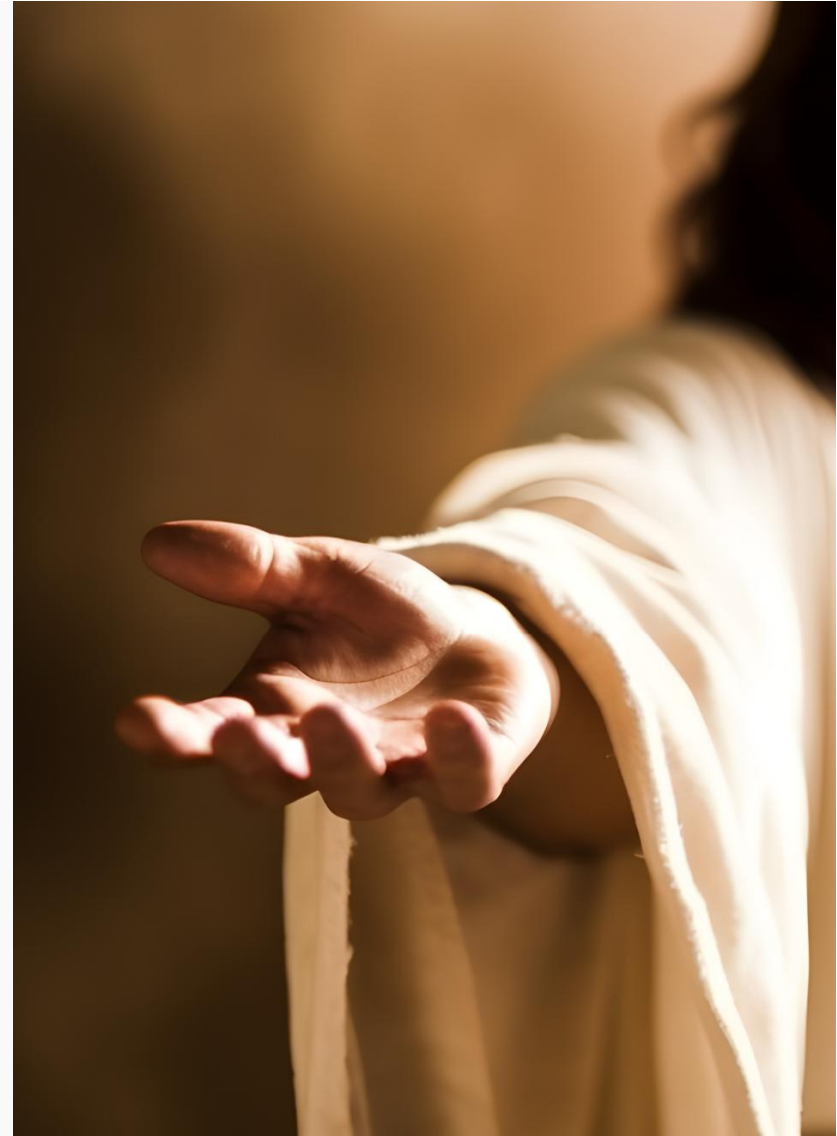
## 本編 私を愛するか マタイ10:37

わたしよりも父や母を愛する\*者は、わたしにふさわしい者ではありません。わたしよりも息子や娘を愛する\*者は、わたしにふさわしい者ではありません。

\*愛するとは、選択的決断

主を愛する➡主を第一とする選択、決断

■家族すら分断される激しい対立の中で、主を愛することを選び取るのかどうか。



究極的な愛の決断を求められるのが、主の裁きの日

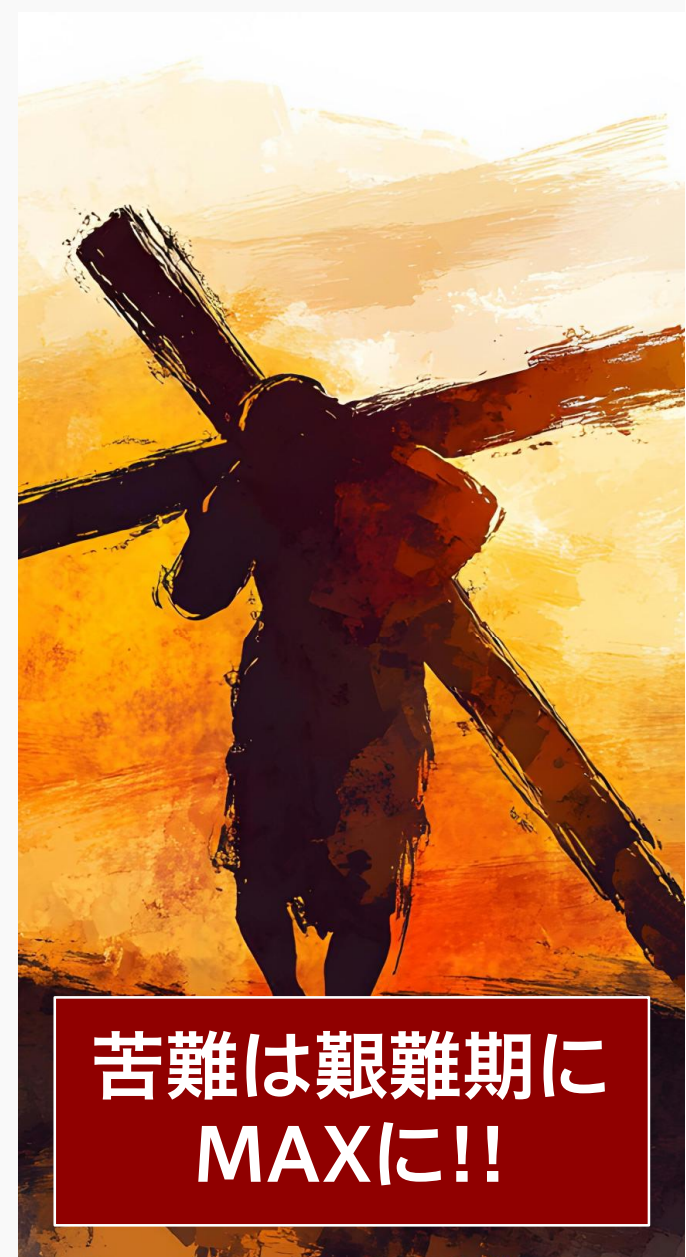
## 本編 十字架を負って従え マタイ10:38

自分の**十字架**を負ってわたしに従って来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。

### ■使徒パウロの宣言 ガラ6:14

「しかし私には、私たちの主イエス・キリストの**十字架**以外に誇りとするものが、決してあってはなりません。この**十字架**につけられて、世は私に対して死に、私も世に対して死にました」

■十字架刑は、恥辱をもたらす見せしめの刑。  
主イエスを誇りとするれば、世で辱められる。



**苦難は艱難期に  
MAXに!!**



## 本編 失って得る命 マタイ10:39

自分のいのちを**得る**\*者はそれを失い、  
わたしのために自分のいのちを失う者  
は、それを**得る**\*のです。

\*ユーローン…分かる、見いだす

- 自分の命しか見ていない者は、  
永遠に命を喪失する(永遠の滅び)
- 主を見上げ、一心に見つめる者は、  
世の命を失っても、永遠の命を得る。



艱難期に信じた者の多くは殉教する

## 本編 受け入れる人 マタイ10:40

あなたがた\*を受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです。

＊第一に、イエスが遣わした十二使徒

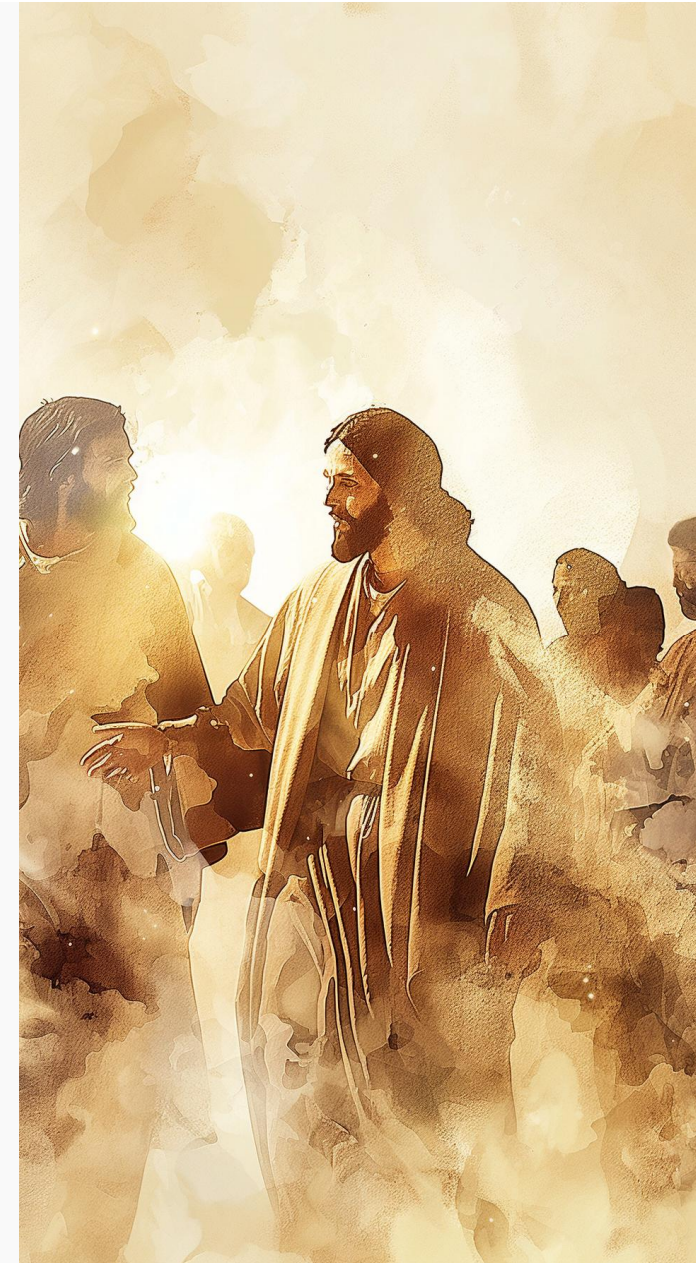
■ 使者を受け入れる

＝ 使者を遣わした主人を受け入れる

■ メシアを受け入れる

＝ メシアを遣わした神を受け入れる

■ イスラエルを受け入れるかが、艱難期の異邦人の運命を決める。(マタイ25：32)





## 本編 受け入れた報い マタイ10:41

預言者を預言者だからということで受け入れる人は、預言者の受ける報いを受けます。また、義人を義人だからということで受け入れる人は、義人の受ける報いを受けます。

- 預言者、義人を受け入れて報いを得た人
  - …3人の御使いを受け入れたアブラハム
  - モーセを受け入れたイテロ、
  - 二人の斥候を受け入れたラハブ
  - エリヤ、エリシャを受け入れたやもめ、





## 本編 報いを得る者 マタイ10:42

まことに、あなたがたに言います。わたしの弟子\*だからということで、この小さい者たち\*の一人に一杯の冷たい水でも飲ませる人は、決して報いを失うことはありません。」

- メシアの命令、警告 約束を受けて身一つで遣わされて行く十二使徒\*をメシアの使者として受け入れる者には、永遠の報いが与えられる。



主に遣わされた者を 受け入れた者には、報いがある



### III. まとめと適用

終末的信仰を日々、育もう

ガリラヤ湖畔

## 派遣に先立つ使徒たちへの勧告 10章後半

■ メシア同様に迫害されるが、恐れず伝えよ。

悪も義も、真実は必ず明らかにされる。

■ 永遠の裁きを下される、創造主なる神を恐れよ。

■ メシアをめぐるってイスラエルは分断する。

たとえ肉親よりも、メシアを愛せよ。

■ 十字架を負って、メシアに従え。命を惜しむな。

■ あなたがたを受け入れ、支える者が与えられる。



## 弟子たちは、教会時代も同様に遣わされた

- イエスの警告は、教会時代に、さらに強く響いただろう。
  - ➡ イスラエルの分断も、同胞からの迫害も増した。  
命を落とす者もいた。  
教会内部の霊的戦いも、絶えることがなかった
- 教会時代が続く今、私たちの状況も同じと心得よう。
  - ➡ 地上の教会も分断し、正しい者が迫害される。  
愚直に信じる者ほど、嘲笑されるだろう。

## 終末にまで及ぶ、メシアの勧告

■ 分断や迫害のクライマックスが、世の終わりの大艱難時代。

■ メシアの終末預言 マタイ24:9～14

「そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。

また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。

不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。」

## 裁き主である救い主の言葉の真実

■旧約の預言も、主イエスの言葉も、  
終末預言の厳しい**裁きの言葉**にあふれている。

➡**ゲヘナ**への言及は、90%以上がメシアによるもの。

■見ていなかったのは、無意識の心の防衛本能？！  
聞きたくない、見たくないことをスルーするのが人間。  
肉のままの心では、とても耐えきれない。

➡信仰の成長と共に、**裁きの宣告**に直面させられる



## ますます深まる分断の時代に

■ 真理は、人を二つに引き裂く。

➡ 主イエスを受け入れるのか。拒むのか。

永遠の救いか。永遠の滅びか。

ますます厳しく問われていく。

■ 神の民イスラエルが、家族まで分断されるなら、異邦人世界ではなおのこと、分断が深まるだろう。

➡ 行き着く先が、艱難期最後の羊と山羊の裁き

# ゴールを知って、スタートしよう

- 使徒たちは、**終末時代の警告**をメシアに告げられ、目の前の時代に遣わされて行った。
- クリスチャンが第一に見上げ、待ち望むべきは？
  - ◆ **メシアの再臨** …空中再臨(携拳)、地上再臨
  - ◆ そして、メシアによって建てられる、**神の国**。
- 目の前しか見ていなかったら、信仰者は世の迷子。  
御言葉を学び、たどり着くゴールを見据えて歩もう。

## 教会内部の混沌も分断も増していく

■ 神の民も、教会も、分断されていくだろう。

➡使徒たちも直面し、苦悩した事実

■ 人々は互いに裏切り、憎み合い、偽預言者に惑わされる。  
不法がはびこり、多くの人の愛が冷える(マタ24章)

■ 求められるのは、**忍耐**。福音は全世界に宣べ伝えられ、  
すべての民族に証しされ、最後に終わりが来る(マタイ24章)

**忍耐とは、御言葉により、主への信頼を育んでいく課程**



## ★ 終末的信仰を日々、育もう ★

- 終末的信仰とは、目の出来事に振り回されないこと。  
誰も知らないその日に備え、主の約束に信頼すること。
- 約束された最上の結末を信頼し、  
希望をただ主にのみおいて、福音宣教に遣わされよう。
- 永遠の命を約束された者として、  
永遠の視点をもって、主の救いと裁きを宣言しよう。

**マラナタ、主よ来て下さい。祈りつつ日々遣わされよう**

「<sup>てん</sup>天の<sup>とう</sup>お父さま。<sup>わたし</sup>私たちの<sup>つみ</sup>罪をゆるしてください

<sup>わたし</sup>私たちは、<sup>かみ</sup>神の<sup>こ</sup>み子、<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストが、

①<sup>わたし</sup>私たちの<sup>つみ</sup>罪を<sup>あがな</sup>贖うために<sup>じゅうじか</sup>十字架で<sup>し</sup>死なれ、

②<sup>はか</sup>墓に<sup>ほうむ</sup>葬られ、

③<sup>みっかめ</sup>三日目に<sup>ふっかつ</sup>復活されたこと、<sup>しん</sup>を信じます。

<sup>えいこう</sup>栄光の<sup>しゅ</sup>主イエスは来られ、<sup>こ</sup>世を<sup>よ</sup>裁き、<sup>さば</sup>神の<sup>かみ</sup>王国を<sup>おうこく</sup>建て<sup>た</sup>てられます。

<sup>えいえん</sup>永遠の<sup>ほろ</sup>滅びか、<sup>えいえん</sup>永遠の<sup>すく</sup>救いか。<sup>みち</sup>道は<sup>ふた</sup>二つに<sup>ひと</sup>一つです。

ただ<sup>しんこう</sup>信仰と<sup>めぐ</sup>恵みによる<sup>すく</sup>救いのために、<sup>わたし</sup>私たちは<sup>つか</sup>遣わされます。

<sup>しゅ</sup>主が<sup>にんたい</sup>忍耐してくださるこの<sup>とき</sup>時に、<sup>しん</sup>信じる<sup>ひと</sup>人を<sup>おこ</sup>起こしてください。

<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストのみ<sup>な</sup>名によって<sup>いの</sup>祈ります。　アーメン」